

## 第15回災害廃棄物対策四国ブロック協議会 議事録

日 時：令和3年2月15日（月）13時00分～15時00分

場 所：オンライン会議

議 事：

### （1）報告事項

⑤ 令和2年度の協議会調査事項の報告

⑥ 令和2年度の各種事業等の報告

### （2）協議事項

③ 四国ブロック行動計画に係る改定方針案

④ 次年度以降の四国ブロック協議会での取組に係る課題（案）

## 1 開会

環境省中国四国地方環境事務所 四国事務所 酒向所長より開会の挨拶が行われた。

## 2 あいさつ

（環境省 中国四国地方環境事務所 四国事務所 酒向所長）

第15回災害廃棄物対策四国ブロック協議会の構成団体、有識者の方には平素よりご理解ご協力を賜り感謝申し上げます。本日はお忙しい中、ご参加いただき誠にありがとうございます。本日の協議会はWEBでの開催となっている。

東日本大震災の発災から間もなく10年を迎えるが、一昨日、福島県沖で震度6の地震が発生した。被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。

本協議会は平成26年度に大規模災害における災害廃棄物対策のために立ち上げ、災害廃棄物の適正かつ迅速な処理のための方策、広域連携について検討を行ってきた。平成30年3月に四国ブロック災害廃棄物対策行動計画を策定したが、その後、毎年のように大規模災害が起きている。多くの自治体には災害廃棄物処理に取り組んでもらっている。このような経験を教訓として、本協議会で四国ブロック災害廃棄物対策行動計画の見直しに向け、様々な調査、検討を進めてきた。

本日は、今年度取り組んだ調査事項及び各種事業の報告をさせていただく。調査結果や前回の協議会でいただいたご意見を踏まえ、行動計画の改定方針案をとりまとめているので、後ほどご議論いただきたい。また、来年度以降に向けた取り組み方針も整理しているので、ご意見をいただきたい。

現在、防衛省と環境省の両省で連携強化を進めており、今回からオブザーバーとして陸上自衛隊第14旅団にも参加いただいている。南海トラフ巨大地震がいつ発生してもおかしくない状況下、災害廃棄物の発生に対し、円滑かつ迅速に対応できるよう連携強化、協力体制の構築を進めたい。

本日は限られた時間ではあるが、忌憚のないご意見をいただき、より効果的な広域連携の実現に向けた行動計画の改定につなげたい。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

(事務局 三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社 (以下、MURC))

議事に入る前に配布資料の確認をさせていただきます。

(資料確認・省略)

本協議会においては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン会議システムで開催する。円滑な進行に努めるが、進行上トラブルが発生する可能性がある。何卒ご理解、ご協力をお願いしたい。

(会場参加者、オンライン参加者へのお願い事項・省略)

それでは、議事に入る。以降の議事進行は、座長にお願いする。

### 3 議 事

(座長)

本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、議事に入る。事務局から資料の説明をお願いする。

(1) 令和2年度協議会の運営について ①令和2年度の協議会調査事項の報告

議事の「(1) 報告事項 ①令和2年度の協議会調査事項の報告」について、事務局より資料1の説明が行われた。説明ののち、以下の通り意見交換がされた。

(事務局 MURC)

(資料1説明・省略)

(座長)

事務局から資料1の説明をいただいた。ご意見・ご質問等があればお願いする。

私から確認したい。第3 一般廃棄物処理施設のアンケート実施状況の3. 取りまとめ(地図)のイメージで、焼却施設の取りまとめイメージが図で示されている。イメージなので詳細は記載されていないと思うが、一日当たりの処理能力が全て100tという一番小さい丸(●)がプロットされている。当然ながら、数字によって円の大きさを変えて描写するというのでよいか。

(事務局 MURC)

その通りである。今のところ、小さいものだけ示しているが、処理能力の値が大き

い施設，たとえば 500 t/日の施設であれば，直径 1 cm くらいの大きさの丸（●）で描写することを想定している。

**（座長）**

地理的にどのくらいの距離で施設が存在しているかは，ある程度把握できた方がよい。地図は概略図ではなく，詳細図を使用した方がよいと思う。国土地理院の地図を使用する予定か。

**（事務局 MURC）**

地図は今お示ししているような道路網のないものを想定し，それに色を塗って処理のカバーエリアを示すことを考えている。

**（座長）**

カバーエリアとはどのようなものか。

**（事務局 MURC）**

今は凡例にのみ色を示しているが，各施設がカバーする処理エリアに色を塗るイメージである。

**（座長）**

処理エリアということで理解した。

**（委員）**

9 ページの 2. 取りまとめ（一覧表）イメージで，焼却施設の取りまとめイメージ（基礎情報）として表が掲載されている。表の項目にある「ごみ処理残渣」の内容は何を想定しているか。資源を取り出した後の残渣か。

**（事務局 MURC）**

確認させていただく。

**（委員）**

粗大ごみは前処理として破碎してから焼却炉入れることから，ごみ処理残渣は破碎した粗大ごみなのではないかと思う。資源化のためにまず破碎してから焼却施設に運ぶ場合と，焼却施設に破碎機がある場合とがあると思う。今回は焼却施設の調査なのでこれでよいが，破碎施設についても情報として必要だと思う。

**(事務局 MURC)**

ありがとうございます。次年度、処理のために必要な施設として追加調査しても良いと思う。

**(座長)**

ありがとうございました。他に意見はないか。

特にないようである。それでは、次の議事に移る。資料の説明をお願いする。

**(1) 令和2年度協議会の運営について ②令和2年度の各種事業等の報告**

議事の「(1) 報告事項 ②令和2年度の各種事業等の報告」について、東和テクノロジーより資料2-1, 2-1, 事務局より資料2-3の説明が行われた。説明ののち、以下の通り意見交換がされた。

**(東和テクノロジー)**

(資料2-1説明・省略)

**(座長)**

ありがとうございました。今の説明についてご意見・ご質問等があればお願いする。

**(委員)**

災害報告書のひな型作成という非常に意味のある仕事だと思う。

6ページに地方環境事務所等へのヒアリング内容が整理されている。千葉県では、処理にあたり、県と協会で調整して統一単価を設定したということである。なかなか調整には苦労されたと思うが、たとえば処理困難物や可燃物・不燃物などの品目ごとに単価を決めたのか。それとも災害廃棄物を一括して、1t当たりの単価としたのか。長野県では解体単価を設定したとのこと、こちらは熊本地震でも行われたことなのでイメージできたのだが、今回の場合はいかがか。

**(東和テクノロジー)**

通常、廃棄物処理業者はホームページなどで品目ごとの処理単価を設定しているが、そこまで細かくなく、可燃ごみ、埋め立てごみ、リサイクルごみ、程度のざっくりしたもので、リサイクルごみのみある程度品目を分けていたかと思う。それがそのまま定着したかどうかは聞き及んでいない。

**(委員)**

ありがとうございます。難しいことにトライされたと感じたので、何か情報があれ

ばと思ってお聞きした。

(座長)

他に意見はないか。

それでは、次の資料2-2の説明をお願いします。

(東和テクノロジー)

(資料2-2説明・省略)

(座長)

ありがとうございました。今の説明についてご意見・ご質問等があればお願いします。

特に意見はないようなので、次の資料2-3の説明を事務局からお願いします。

(MURC)

(資料2-3説明・省略)

(座長)

ありがとうございました。今の説明について、モデル事業を実施した松山市から補足があればお願いしたい。

(松山市)

コロナ禍ということで、リモートでの訓練となったが、実施に当たっては準備等の検討を密に行うことができた。参加者の事後アンケートでも概ね好評だった。良い研修となった。

(副座長)

事務局と松山市にお伺いしたい。リモート訓練の実施は新しい試みだったと思うが、苦勞した点、お気づきの点があればお聞かせいただきたい。他自治体の参考になるのではないかと思う。また、コロナ禍を踏まえ、実際に災害が起きた場合、遠隔でやりとりをするケースも想定される。

(松山市)

リモート訓練はシステム上、参加人数に制限があり、通常の図上訓練よりも小規模のものとなった。実際の災害では、このような小規模で動きをとることは難しいだろうという印象を持った。

**(事務局 MURC)**

我々コントローラーは現場の様子がうまく把握できなかつたが、松山市が事務局として非常にうまく動いてくださり、想定以上にスムーズだった。

松山市の訓練では、オンライン会議用の PC の近くにメール連絡用の PC があり、必要に応じてメールの送付などの対応が即座にできた。しかし、PC が部署に 1 台のみ、あるいはそれ以下の場合はそうはいかないと思う。また、タブレットでのメールのやりとりは難しい。設備環境を整えることは非常に大事である。

**(副座長)**

大変参考になった。ありがとうございました。

**(座長)**

ありがとうございました。それでは、次の議題へ移る。

**(2) 協議事項 ①四国ブロック行動計画に係る改定方針案**

議事の「(2) 協議事項 ①四国ブロック行動計画に係る改定方針案」について、事務局より資料 3、資料 4 の説明が行われた。説明ののち、以下の通り意見交換がされた。

**(事務局 MURC)**

(資料 3、資料 4 説明・省略)

**(座長)**

ありがとうございました。平成 30 年 7 月豪雨以降、協議会で議論してきた広域連携にかかる部分を中心に今年度の議論を踏まえてまとめていただいた。来年度の改定に向けた行動計画の方針案である。これについて幅広い見地からご意見ご質問をお願いします。

**(委員)**

7 ページ 1. 基本的な考え方の下から 3 行目、「災害廃棄物の撤去等に係る連携対応マニュアル」等に基づく支援等も想定されるということである。これは、環境省と防衛省が連携したマニュアルだが、この説明の前に“やむを得ず”という言葉を入れた方が良いのではないか。というのは、自衛隊の災害時の第一の使命は人命救助であって、自衛隊による廃棄物撤去支援を前提にすべきでないということは共通認識であると思うからである。

18 ページに V. 地域ブロックにおける災害廃棄物処理の対応力向上に向けてということで、平時の対応の説明がある。6 ページに、「ブロック内の情報共有のあり方につ

いて、ブロック訓練の結果等を踏まえ、必要に応じてオンライン会議システム等を活用した支援のあり方を事前に検討すること、また災害時に適宜活用すること」という記載がある。平時からオンライン会議で情報共有をしておく、実際に発災した時に実効性をもって機能すると思うので、活用を推進すべきである。これは、災害時にオンライン会議を実施することを前提とした意見である。

(事務局 MURC)

ありがとうございました。参考にさせていただきたい。

(徳島県)

19 ページの資料編の要請リストやブロック内の広域連携に使用する様式などについては、Excel, Word など、データの打ち込みが可能な形式の提供がありがたい。PDF はいざという時に使いづらく、市町との日頃からの情報共有のためにも Excel, Word 形式の提供が望ましい。

(事務局 MURC)

ご指摘の通り Excel, Word での共有が望ましいと思う。どういう提供のしかたが良いかは次年度の検討事項となる。

(座長)

他に意見はないか。ブロック行動計画の改定に向けた議論は来年度も引き続き行う。本日いただいたご意見等を踏まえ、事務局で行動計画改定に向けた具体的な記載内容等を整理していただく。どうもありがとうございました。

それでは次の議事へ移る。事務局から資料の説明をお願いする。

(2) 協議事項 ②次年度以降の四国ブロック協議会での取組に係る課題(案)

議事の「(2) 協議事項 ②次年度以降の四国ブロック協議会での取組に係る課題(案)」について、事務局より資料5の説明が行われた。説明ののち、以下の通り意見交換がされた。

(事務局 MURC)

(資料5説明・省略)

(座長)

ありがとうございました。これに対してご意見・ご質問等があればお願いする。

(副座長)

中国ブロック協議会でも同じことを申し上げたので、申し上げる。

2. 廃棄物処理施設に関する調査について、留意いただきたいことがいくつかある。受入可能量の算定調査も今後継続されるということだが、見かけ上の余力があっても受入できない災害廃棄物処理施設がある。より現実的に受入能力があるかを絞り込む必要がある。

また、箇条書きの3つ目で産業廃棄物処理にも触れている。近畿ブロック協議会でも一昨年度あたりから同様の調査を実施している。収集に係る資機材や人員の余力はこれまでの調査実績からもすぐにデータが得られる一方、処理余力に関しては基本的にないとされる。許可能力と処理実績の差は余力にあたらぬ。つまり、民業なので、余力があれば不採算ということになるからである。必要な人員しか雇用しないし、コロナ禍で外国人を雇用できないという事情もある。民間の中間処理施設の余力調査は非常に難しい。このようなことを考慮しながら調査を進める必要がある。

**(事務局 環境省)**

いただいたご意見を踏まえ、来年度どのような調査をすれば効果的に情報収集できるかを考えながら進めていきたいと思っている。

**(座長)**

何年前かに話題に出したことがあるが、災害が起きた際、例えばPCBをはじめとした有害物が流出する危険性がないわけではない。実際に問題になった事例はこれまでにないと思うが、有害物流出のリスク可能性として押さえておいてもよいと思う。たまたま、四国は無害化認定施設が香川県で稼働している。危険物を保管しているところは減っているはずだが、有害物の流出可能性に備える必要性もあると思った。

**(委員)**

民間の処理施設や持ち込める場所を事前に整理しておくことは非常に有用だと思う。ブロック内のどの施設をどのように被災市町で使っていくかという「調整」については、今後考えていくのか。それともリストの提供だけで終えて、後はそれぞれの自治体で単独に施設にアクセスするのか。全体の方針としてどのようにお考えか。

**(事務局 環境省)**

情報収集した施設をどう活用して、どう情報共有するかは、まだ課題の一つである。調整についても、協議会で実施するか、あるいは各自治体にお任せするかの検討ができていない。活用方法については、今後の調査と並行して考えていきたい。

**(委員)**



ブロック行動計画の改定に向けた調査は必要なことと認識しているが、全体的な視点、長期的視点に立つことが重要だと思っている。繰り返しの指摘になるかもしれないが、2点述べる。

四国ブロックは南海トラフ地震の被害想定が甚大で、ブロック内で処理が完結することは難しいということは共通認識となっている。そうであれば、オールジャパン、本省と連携した対応が必要であることは言うまでもなく、それを連携の中で考える必要がある。

四国ブロック内の破砕選別施設、焼却施設、不燃物処理施設、安定型処分場、管理型処分場、リサイクル関係業者、解体業者、建設関連業者、産廃処理業者、運搬業者及び、資機材の保有数の実数を把握しておくことは非常に重要なので、各業界と連携して災害時の情報共有の手順、仕組みづくりを考える必要がある。行動計画の改定にあたり、長期的スパンでそのようなことを盛り込んだ検討となると良いと思う。

#### (事務局 環境省)

ご指摘いただいたことは非常に重要な観点だと思うので、改定に当たっては過去の事例と長期的視点を盛り込むことを念頭におきつつ、書きぶりを考えたい。

#### (座長)

他に意見はないか。

ありがとうございました。意見は出尽くしたようである。次年度の協議会での方向性については、ただ今いただいたご意見等を踏まえ、事務局で整理していきたい。

本日いただいたご意見を踏まえて、事務局にて本年度の最終的な報告書を作成していく。最終的な確認などについては、座長である私と事務局で進めるということでしょうか？

(一同 意義なし)

ありがとうございます。それではそのように進める。議事はここまでとし、進行を事務局に返す。

## 6 閉会

#### (事務局 MURC)

本日は、お忙しいところご出席いただきありがとうございました。なお、本日のご発言以外に、本協議会に関するご意見等があれば、会議終了後より1週間を目途に事務局までメール等にてお知らせいただきたい。

本年度の協議会で調査した事項等については、本日のご意見等を踏まえ、座長にご

確認いただいた上で最終的に報告書としてとりまとめる。

以上をもって、第15回災害廃棄物対策四国ブロック協議会を閉会する。オンライン会議も通信を終了とする。本日は長時間どうもありがとうございました。

以上